

葛飾区立西小菅学校



<車いす体験を通して>

車いすに実際に乗ることができる貴重な時間でした。乗る前はどこかワクワクしていた子供たちでしたが、乗った後には口をそろえて「思ったよりも怖かった。」と言っていました。体験活動を通して肢体不自由の方の気持ちを感じることができました。学習後の振り返りでは、「車いすに乗った人が困っていたら助けたい。」とみんなで考えました。

<アイマスク体験を通して>

「よく知っている場所なのに怖い。」、子供たちからこの言葉が聞けたとき、この体験活動を受けて本当に良かったと感じました。目が見えない人の生活、想像することは容易ですが実際に体験する時間を設けたことはありませんでした。この体験を通して、多くの児童が視覚障がいのある方の気持ちを体感することができました。とても良い経験になりました。マスク一つで体験できてしまうことにも子供たちはとても驚いていました。

<手話体験を通して>

手話体験には実際に耳が不自由な方が講師として来てくださいました。子供たちは最初は驚いていましたが、すぐに身振り手振りを活用してコミュニケーションをとろうとしていました。それでもなかなかうまく伝えたいことが伝わらない。そんな中教えていただいた手話は子供たちにとって「目からうろこ」でした。すぐにみんなが熱中し、「もっと手話が知りたい。」という声が多く上がりました。講師の先生方のおかげで子供たちの興味関心が広がりました。